

来週の「売り物」記事はこれ



2013年1月18日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

次世代の永田町リーダー

小泉進次郎と細野豪志

朝刊 27日(日)



自民党青年局長の小泉進次郎氏(31)＝写真左＝と、民主党幹事長の細野豪志氏(41)＝写真右＝。昨年12月の衆院選挙では、2人とも「党の広告塔」として全国を走り回りました。結果は、自民党の大勝、そして民主党は惨敗を喫し、政権「再交代」となりました。そうしたなか変わらなかったのが両党における2人の評価です。若く、イケメン、それでいて



人を引きつける魅力……。将来のリーダー候補として存在感を増しています。でも、小泉氏が小泉純一郎元首相の次男で4代目の世襲議員なのに対し、細野氏はたたき上げ——というように、政治家としてのバックボーンは大きく異なります。「広告塔」から名実ともに「党の顔」を目指す2人。その素顔に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

シリーズインタビュー「時代を駆ける」1月29日～2月2日

静岡県舞台芸術センター(SPAC)芸術総監督、演出家

宮城聡さん

29日から



「静岡県舞台芸術センター(SPAC)」は日本初の公設劇団で、その芸術総監督を務めるのが演出家の宮城聡さん(53)＝写真＝です。6年前に東京で主宰していた劇団の活動を休止して静岡に移り住み、世界に向けて演劇文化を発信し続けています。また、舞台を教育の場とも捉え、中高生を積極的に劇場に呼び込み、演劇の可能性に挑んでいます。宮城さんの歩みと奮闘ぶりを5回にわたって描きます。

災害救助犬の訓練を見てきた

くらしナビ動物面 29日(火)

災害時、行方不明者の捜索に活躍する災害救助犬。東日本大震災でも多くの災害救助犬が被災地に入り、人の1億倍といわれる嗅覚を生かして捜索の大きな力になりました。しかしその訓練に光が当たることはあまりありません。神奈川県寒川町の訓練所で、合格率30%という厳しい試験を目指して猛訓練をする犬たち取材しました。



閉経のメカニズム

くらしナビ生活面 30 日（水）



読者から「閉経を迎えるとき、体にどんな変化が表れるのか教えてほしい」というお便りをいただきました。「閉経とは老いなのか」という疑問と不安がつづられていました。日本人女性が閉経を迎える平均年齢は 50 歳ごろといわれます。女性ホルモンの分泌が減り、骨がもろくなったりします。平均寿命が伸びるなか、閉経のメカニズムと更年期前後の快適な過ごし方を専門家に聞きました。

ファストファッションを楽しむ方法

くらしナビ装う面 31 日（木）

人気拡大中のファストファッション。ユニクロはオーソドックスで買いやすいけれど新鮮味が出ない▽フォーエバー21 など海外発の服は奇抜すぎ、何を買ったらいいか分からない——そんな大人の女性に向けてファストファッションの楽しみ方をお伝えします。シンプルな服にレースやボタンなどのデコレーションを楽しむ「ユニデコ」、若者向けの店で、役立つアイテムを探すコツを紹介します。



続「体罰問題 私の視点」—— スポーツ人が語る



大阪市立桜宮高校バスケットボール部で体罰を受けた主将が自殺した問題は、全国のスポーツ指導者に、体罰とは何かを考えさせています。運動面では、「私の視点」として 3 人の有識者の見方を掲載しましたが、29 日からはその続編として、実績がある 5 人のスポーツ指導者の意見を掲載します。全国高校駅伝で西脇工（兵庫）を 8 度の全国制覇に導いた渡辺公二前監督▽ソフトボール女子の元日本代表監督・宇津木妙子さん▽ラグビー日本代表として活躍した平尾誠二さんらが登場する予定です。

さらば三宅坂！ どうなる社民党？

夕刊特集ワイド 29 日（火）

社民党本部が入る社会文化会館（東京都千代田区永田町）が老朽化で取り壊されるのに伴い、26 日社民党本部の引っ越しがあった。立地場所から「三宅坂」と呼ばれ、55 年体制の一翼を担った社会党の代名詞として親しまれた。そんな「三宅坂」の消滅は、去年の衆院選で 2 人しか当選しなかった社民党の衰退を象徴しているかのよう。福島瑞穂党首、村山富市元首相、「権力の館」の著者御厨貴・東大名誉教授らに社民党の行く末を聞いた。

